



# 鶴林

10月



キンモクセイ

第426号

平成26年10月1日  
社会福祉法人 鶴林園

〒675-0303 兵庫県 加古川市  
志方町細工所1086番地

TEL 079-452-0524

FAX 079-452-2461

<http://www.kakurinen.or.jp>

Eメール [info@kakurinen.or.jp](mailto:info@kakurinen.or.jp)

## ★ 理事長の問わず語り ★

### 「眼に見えるもの、見えないもの」

冷たい風が、ほてった肌を駆け上がって来ると、もう、秋である。半袖シャツから長袖へと、世間が衣替えをするかのように、仕事への意欲が湧いてくる。

長かった夏に、ずっと考え続けていたことが一つある。それは、「眼に見えるものと、眼に見えないもの」である。

私たちの周りは、当然の事であるが、眼に見えるもので満ち溢れている。小さい我が家や馴染みのある家具、文房具など、全て眼に見えるものである。

最近、我が家では、出来る限りテレビを消して、ラジオに切り替えた。丁度、昭和二十九年に、我が家にテレビが入るまでの静けさである。そこにあるのは、眼に見えないものばかり。ラジオで初めて「君の名は」を聞いた時、「数寄屋橋」ってどんな橋なんだろうか、一体どこにあるのだろうかと、子供心にもワクワクしたことを、今でもテレビで再放送の映画がある度に、なぜか見入ってしまう。

このように、世の中には、直接、眼に見えるものと、眼に見えないものがある。

眼に見えるものは、直接的で、直感的で、現実的で、良いもの、悪いものと、人によっては好みもあるが、出来栄えはともかく、他人でも真似することは、可能である。これには、建物や設備、物品等だけではなく、技術や色々な数字、組織や決まり事など、眼に見え、手に触れ、他の人が容易に再現出来るものである。

一方、「眼に見えないもの」とは、どんなものだろうか。眼に見えるものではなく、直接的に説明することが出来るものではなく、人がそのものに触れることが出来ないもの、他人が簡単に再現出来ないもの、とは一体どんなものなのだろうか。

良く考えていただきたいのだが、現実の世の中には、このように眼に見えないものが多数存在しているのではないかと。と言うより、世の中は、この眼に見えないもので成り立っていると断言しても過言ではない。

人が生きて行くための仕事をして行く上での使命感、哲学や道徳と言われているものや考え方、人や場が持っている雰囲気や伝統と言われるもの、現在、世界の各地で紛争を引き起こしている宗教と言われるものも、そのようなのであろう。

要は、「この「眼に見えるもの」と、「眼に見えないもの」とのバランスの問題でもある。私は、「この眼に見えないものが、眼に見えるもの以上に大切なものだし、これがないと人が生きて行くことや、組織を作って行くことが出来ない」と信じている。また、他者と話し合う時、最後の心の拠り所が、「この眼に見えないものではないだろうか。」

この眼に見えないものは、眼に見えるもののように、そこにあるのではない。

眼に見えないものは、我々の心の中にあり、一人ひとりが作り出して行くものである。また、そのためのあらゆる努力が必要なこととは、言うまでもない。



サギソウ

今年も、デイ・センター玄関で  
可憐な舞を披露してくれました  
(お隣り姫路市の  
シンボル花です)



# デイ・センター

# 10月のお楽しみ



# 養護



- 1日(水)・13日(月)・16日(木)  
24日(金) オリジナルしおり作り
- 2日(木)・22日(水)・27日(月)  
30日(木) 秋の壁画作り
- 3日(金)・8日(水) 育てようお米作り  
～お釜でご飯編～
- 4日(土)・18日(土) クイズ大会
- 6日(月) ワイワイ喫茶
- 7日(火) 篠笛・ギター 沙羅様 来園
- 9日(木)・10日(金)  
デイ・センター 秋の大運動会
- 11日(土)・25日(土) ふれあいの日

- 14日(火)・23日(木) 手作りおやつ  
「おはぎ」
- 15日(水) 祝膳の日
- 15日(水)・17日(金) 焼き芋大会
- 20日(月) 日本舞踊 ひまわり様 来園
- 21日(火) 音楽療法 川鶴先生 来園
- 28日(火) 秋の大正琴クラブ発表会
- 28日(火)～30日(木) 理美容
- 29日(水) 仮装ハロウィン喫茶
- 31日(金) ハンドベル演奏・合唱  
きらきら星様 来園

☆今月の外出ツアー  
ゆびか足湯ツアー・コスモスツアー

## 特養

- 8日(水) 運動会  
祝膳の日
- 14日(火) 音楽セラピー
- 15日(水) 誕生パーティー
- 20日(月) 歌・琴・踊り  
ひまわり様 来園
- 24日(金) アニマルセラピー
- 28日(火) 音楽セラピー



毎週土曜日 喫茶  
毎週土曜日・日曜日 レクリエーション  
第1・第2・第4日曜日 出張理美容

- 6日(月) ふれあいタイム  
生き生き生活推進委員会
- 7日(火)・17日(金) 衣類販売
- 8日(水) 誕生会
- 10日(金) 運動会
- 11日(土)・25日(土) 出張パン販売
- 14日(火)・28日(火) 大正琴クラブ
- 18日(土) 二胡演奏会
- 25日(土) お楽しみクラブ



毎週火曜日・金曜日 ティータイム  
毎週水曜日 書道クラブ  
毎週水曜日・3日・25日・26日  
アクティブクラブ  
毎週木曜日 出張販売(30日を除く)  
毎週土曜日 喫茶  
毎週日曜日 カラオケクラブ 出張理美容



## プログラム

- ①ラジオ体操
- ②パンツでデート
- ③グランドゴルフ  
ホールインワン  
チャレンジ
- ④パン食い競争
- ⑤応援合戦
- ⑥紅白玉入れ
- ⑦職員対抗  
ぐるぐるバットリレー
- ⑧よさこいソーラン節

日時 10月10日(金) 9時～12時30分  
場所 鶴林園 芝生広場  
(雨天の場合 レインボーホール)

## 鶴林園運動会

当日は、屋台の到着が早くなることもあります。早めに正面玄関にお集まりください。

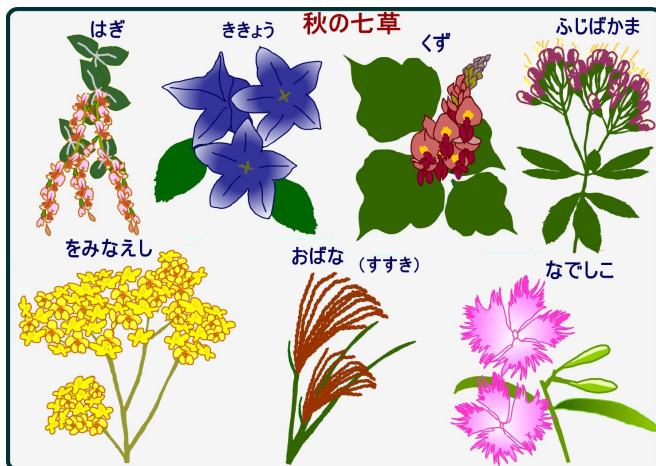
日時 10月12日(日) 9時頃～10時頃  
場所 鶴林園 正面玄関



恒例の迫力ある屋台練りを披露してくださいませ。  
「ヨーイヤサー」の大きな掛け声、大うちわ等で、盛り上げましょう！

## 細工所秋祭り 屋台巡行

「冷えは万病の元！」  
風が急にひんやりとして、暖かさに慣れていた体は、冷えの影響を大きく受けます。  
・下半身をしっかりと温めましょう  
・温かい食べ物、飲み物を取るようにしましょう  
・入浴はシャワーですませず、ゆつくりと



# 秋

さわやかな季節がやってきました！  
暑かった夏もようやく終わりを、10月8日の「寒露(かんろ)」（野草に宿る冷たい露のこと）の頃からいよいよ本格的な秋の到来です。空気が澄んだ秋晴れの日が多く、過ごしやすい季節となります。  
食欲の秋！ 運動の秋！  
読書の秋！ 創作の秋！  
行楽の秋！ 睡眠の秋！  
秋は、春と同様、にぎわいの多い季節です。皆様、どのようにお楽しみでしょうか？  
秋深き隣は何をする人ぞ 芭蕉



多彩な屋内外のプログラム！

皆さん、1日がアツと言う間に過ぎるとおっしゃっています・・・



体感 秋の訪れ  
近隣の農家から少し分けて  
頂いたコスモスで生け花～



真昼のお月見会

今年は特に大きく、美しかった  
「スーパームーン」。

職員手作りの影絵で昔話を再現、  
幻想的な雰囲気を楽しみました～



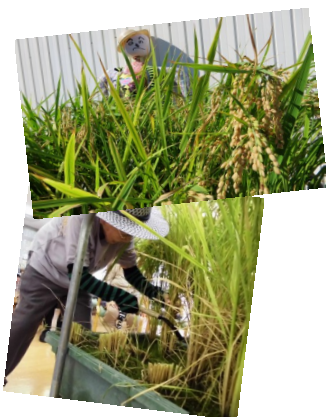
素敵な ステーキ

バーベキュー

秋晴れの気持ちの良い昼下  
がり、屋外でバーベキュー。  
皆さん、アツアツ焼き立てを  
美味しく欣赏到～

豊作 稲刈り

ご利用者に太鼓を叩きながら  
植えて頂いた稲が見事に実り  
スズメが頻りに飛来、手作り  
カカシも見張りに大忙し。  
稲刈りは、デイセンターの  
フロアで、多くのご利用者が  
慣れた手つきで～



白菜の種まき



野菜の植え付け

白菜、キャベツ、  
ブロッコリーなど  
秋・冬野菜を植え  
始めました。  
もうすぐ落花生の  
収穫。  
試食会が楽しみ～

特養  
敬老会

今年の敬老会は、琴・尺八・詩吟の  
ボランティア「かざぐるま」様がお祝い  
に駆けつけてくださいました。  
琴の雅な音色に、尺八の趣のある音色  
が重なった素敵な演奏に、皆さんウツ  
トリ！ 敬老のお祝いの喜ばしい日  
に、華を添えていただきました。



百寿者表敬訪問

加古川市や兵庫県からの百寿者表敬訪  
問には、ご家族も大勢来園され、対象  
ご利用者お二人は晴れ舞台でしっかり  
ご挨拶されました。



帯刀綾治さん  
「ありがとう！」

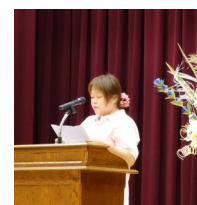


坂井砂雄さん  
「長寿の秘訣？何も  
考えないこと！」

養護  
敬老会

式典の部では、女性104歳、男性97歳の最高齢表彰があり、  
元気なお二人の姿に皆が勇気づけられました。

演芸の部では、職員によるかくし芸、演劇「金太郎」などが  
披露され、会場は大いに盛り上がり、ご利用者の長寿を笑顔  
一杯の雰囲気の中でお祝いしました。



職員代表祝辞



ご利用者代表  
謝辞

最高齢者表彰



式典の部

理事長挨拶



につぼん昔ばなし  
「金太郎」



漫談



南京玉すだれ



詩吟

演芸の部

敬老会では、職員一同で、「里の秋」「上を向  
いて歩こう」などの演奏や演劇「大きなカブ」を熱  
演！ お楽しみ頂きました。



お一人おひとりに、  
手書きメッセージ  
カードをプレゼント



今年の敬老の日には、  
傘寿・卒寿・白寿・百寿の  
方々のお祝いをするこ  
うができました！

デイ・センター



長寿をお祝いし  
松の盆栽を展示  
(職員宅で栽培)

「サーン」(信条)

社会福祉法人鶴林園は  
ご利用者に



どんなときにも心あたたまる対応をし  
きめ細かなサービスを提供することが  
最も大切な使命と心得ています

私たちは

ご利用者の充実した生活を支援するため  
常に各々の希望やニーズを先取りする感覚で臨み  
最適サービスと快適設備の提供に努力します

私たちは

プロとして

担当業務に関する知識・技術・ノウハウを  
積極的に習得します

また ご利用者に  
ご満足頂けるサービスを提供し続けるためには  
自らの志の高さと  
人としての完成度を高めていくことが  
大前提と考えており 全員参加で  
日々挑戦していきます

編集後記

昔は、怖いものの代名詞として、「地震、雷、火事、  
親父」と言っていました。今は、親父の前に、津波、  
竜巻、洪水、土砂崩れ、そして今度は、火山の噴火  
等々いろいろな災害の怖さを身近に感じるようになり  
ました。

一方で、今年の中秋の名月は「本当にきれいだった」  
とみんなが絶賛しました。秋は、豊かな恵みを神に感  
謝するお祭りの時でもあります。

計り知れない大きな大きな自然の中で、今生かされ  
ている自分って何なんでしょうね。  
皆様はどう思われますか？

(典)



がんばってま〜す！ 新入職員一同

今月は、4月入社の新入職員の皆さんに鶴林園での半年を振り返ってもらいました。

介護というやり甲斐のある仕事を  
させていただけるのが毎日の楽し  
み。もっと介護の知識・技術を磨く  
ことを目標にすると共に自分も成  
長して行きたい。特に、まだまだ不  
十分なご利用者との関わり方を  
勉強し頑張っていきたい。

養護 支援員 松本寛史

仕事を覚えるのに手一杯、  
周囲の職員に助けられ、またご利用  
者からも感謝の言葉や激励の  
言葉をいただいた。  
それらに応えられるようにご利用  
者や職員とコミュニケーションを密に  
し、仕事をして行きます。

特養 介護職員 寛 美生

馴染みやすい職場。先輩職員に  
よる指導やレクリエーションもあり、  
楽しく仕事をしている。介護は暗く  
てしんどそうなイメージがあったが、  
ご利用者の笑顔で、元気を貰え、  
やりがいのある仕事だと思ふ。目  
配り・気配りを心がけ、ご利用者の  
思いに添える介護をして行きたい。

デイ・センター  
介護職員 西川 舞

ご利用者との深い触れ合いの意  
義の理解と実践が介護業務に不  
可欠とわかってきたが、まだまだ努  
力不足。  
日々の勉強や試験を積み重ね  
頑張ります。

養護 支援員 盆子原 宏

細かい事を何度聞いても嫌な顔  
をせず教えてもらえる。  
初めてご利用者が亡くなった時は  
大きなショック。ご利用者との沢  
山の思い出づくりをしたい。  
日々の業務を確実にこなし、これ  
からも特養で頑張ります。

特養 介護職員 松下梓沙

介護の知識・技術がなく、ご利用  
者の名前も覚えられずとても不  
安だったが、先輩職員の丁寧な  
指導・ご利用者が笑顔で話し掛  
けて頂いたことが心の支え。前期  
初任者研修も休まず参加し資格  
取得、日々の業務に活用して  
行きます。

特養 介護職員 鈴木梨紗

ご利用者に名前を呼んで頂けた  
り、出来る仕事が増えてきたた  
め、毎日が充実。  
思いやりのある支援や言葉づか  
い、報連相を意識し、ご利用者  
や他の職員に信頼されるよう  
日々成長して行きたい。

養護 支援員 吉川真弥



自分の支援のあり方を自問自答  
の毎日。先輩職員が忙しくてもご  
利用者の声に耳を傾けている姿  
を目指し、気持ちに余裕を持ち笑  
顔で仕事出来るよう日々努力  
します。半年間を乗り越えられた  
のは先輩職員のフォロー。感謝。

養護 生活相談員 平塚千恵梨

まったく知らなかった「介護」の  
仕事は人と人とのつながりが大  
切だと実感。ご利用者はもとより  
職員同士のコミュニケーション  
を大事に、鶴林園で出会えた  
良き先輩を目標に頑張ってい  
きます。

特養 介護職員 清水大貴

戸惑うことも多いが、先輩職員の  
助けやご利用者の感謝の声に励  
まされ、ご利用者の笑顔を見ると、  
この仕事を選んで良かったと思ふ。  
わからない事はまだまだあるが、周  
りの方々に教えていただきながら頑  
張って行きます。

特養 介護職員 井口瑞菜

入社直後は何度も挫折。  
しかし、先輩・同期職員、ご利用  
者からの「ありがとう」「頑張れ」の  
言葉に支えられ、仕事を楽しく感  
じるようになった。後期初任者研  
修に参加し、スキルアップを図り、  
心身共に成長して行きます。

特養 介護職員 高見結奈

ご案内

催し物

地域包括支援センター  
かがわ西 主催  
ご参加お待ちしております！

★介護者の集い★

秋の特別企画 日帰りバス旅行  
「ランチバイキング &  
ヤクルト兵庫三木工場見学」  
スケジュール  
11月4日(火)

9時45分 加古川西公民館前

10時 バス出発 集合

11時〜12時30分

13時〜14時30分 旬彩レストラン「デルパ」

15時30分 加古川西公民館帰着

参加費 1500円(昼食代)

参加人数 20名(先着順)  
(65歳以上 1350円)

お申込み 079-452-2097  
地域包括支援センター

かがわ西

★介護なんでも相談★

介護や福祉、医療に関  
すること...

お困り事や心配事が  
あれば、お気軽にご相談  
ください。

「茶話会」や「介護者  
の集い」も随時実施の  
予定です。

(お問い合わせ)  
079-452-2097  
地域包括支援センター

かがわ西

毎月第2火曜日	毎月第4火曜日
午後1時〜4時	午後1時〜4時
志方公民館内	志方西公民館内